

授業科目名	ソーシャルワーク実習指導	単位数	6単位
担当教員名	砂田淳一郎・堀越由紀子・平雅夫・ 矢原絵理・新明綾乃	担当形態	複数
実務内容 (実務家教員の場合)	社会福祉士として福祉現場の経験がある教員が、実践的視点からソーシャルワーク実習指導について解説する。		
「学位授与の方針」との関係			
DP2.共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる(専門知) DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる(実践力)			
授業のテーマ及び到達目標			
(1) ソーシャルワーク実習の意義について理解する。 (2) 実習にかかる個別指導および集団指導を通じて、ソーシャルワーク実践における具体的な知識や技術を習得する。 (3) 社会福祉士として求められる資質や技能、倫理等について、総合的に対応できる能力を身につける。 (4) 実践現場において、具体的な体験や援助活動を、専門的援助技術に結びつける能力を身につける。			
授業の概要			
本養成課程の最重要科目である「ソーシャルワーク実習Ⅰ・Ⅱ」を有意義かつ有効なものとしていくために、実習の意義、学ぶべき視点、ソーシャルワーク実践現場での具体的な業務の内容とそこの視点について、個別指導を中心にして学ぶことを目的とする。			
授業計画			
第1回:ソーシャルワーク実習の意義 第2回:ソーシャルワーク実習の目標 第3回:現場実習としてのソーシャルワーク(1) 第4回:現場実習としてのソーシャルワーク(2) 第5回:援助関係形成のための基本的理解 第6回:ソーシャルワーク実習の確認事項(1) 第7回:ソーシャルワーク実習の確認事項(2) 第8回:実習先オリエンテーション(事前訪問) 第9回:相談援助実習の心得 第10回:ゲストスピーカー(施設で働く実習指導者の話を聴く) 第11回:ソーシャルワーク演習における利用者の人権尊重 第12回:ソーシャルワーク演習における倫理 第13回:ソーシャルワーク演習におけるスーパービジョン 第14回:ソーシャルワーク実習後の振り返り(1) 第15回:ソーシャルワーク実習後の振り返り(2) 科目修得試験			
スクーリングでの学修			
ソーシャルワーク実習と学ぶ事により、様々な問題を抱える人や社会に対し人と人、人を環境を繋げ、効果的な解決策を考えていく。このプロセスを通して、自律的な課題探求能力を身につけていく事を目的とする。			
テキスト			
必要に応じて適宜紹介する。			
参考書・参考資料等			
学生に対する評価			
評価基準の詳細については、通常の科目と異なるため別途説明する。			